

かたらん

特集

市立はげの森美術館 所蔵作品展

「料理して

妻を待つ」

P2~

～中村研一と日常のモチーフ～



中村研一の
レシピ付
(P5)



小金井 7 学ぶ P6~
 かがくくらぶ「スモ
 平井寿子さんのお話し



「国際比較」 P8~

メヘディ・
 ジャハンフアーさんに聞く
 イラン料理のレシピ付



男女共同参画
 シンポジウム P10~
 「妻が僕を変えた日」
 を聞いて

特集

「料理して妻を待つ」

〜中村研一と日常のモチーフ〜

男女平等をいかに実現するか。法や制度も大切ですが、私たちが暮らす街や家庭が真に平等であることが重要で、女も男も生き生きと暮らす日常が続いたら、自ずと男女は平等になるのではないのでしょうか。3月27日〜5月20日、はけの森美術館で所蔵作品展「料理して妻を待つ〜中村研一と日常のモチーフ〜」が開催されました。中村研一ってどんな人？

どんなご夫婦だったのでしょうか

「料理して妻を待つ」という言葉は、研一の日記にあります。

34歳の研一と22歳の富子は、見合いをして結婚します。喧嘩をしたことのない夫婦で富子は可愛い妻であったようです。編み物や洋裁が得意な妻と料理が好きな夫、経済的に恵まれて育った二人でした。研一はお手伝いさんに料理には醤油を使うなど言い、盛り付けにもこだわりました。料理に関する記事が多くあり、例えば1932年の



《富子像》制作年不詳

を毎日描き続けました。

研一はどんな家庭に育ったのでしょうか

1895年（明治28年）、福岡県に8人兄弟の長男として生まれ、小さいころから絵が好きで少年でした。画家の中村琢二は弟です。父親は地質関係の技師・住友本社の技師長（戦前の住友財閥の幹部）で、母が焼くパンの匂いがすると「今日は西洋料理の日だと思っ」という、モダンな家庭でした。父が福岡から新潟に転勤し、祖母に育てられます。

1909年、中学に入学、先輩に児島善三郎がいます。翌1910年「白樺」(フランスの新しい芸術・特に絵画の動向が紹介されていた雑誌)が創刊され、多感な青春時代を芸術的環境の中で育ちます。しかし、絵描きの道は父に許されず、三高（現京都大学）



《イタリアの壺》1965年

はけの森美術館は市立美術館なのですね

1967年に研一は亡くなります。

受験の名目で家を飛び出し、東京美術学校（現東京藝術大学）に入学します。入学後は父親も諦め、一転して代々木にアトリエを新築してくれました。貧乏学生が多い美校生の中で破格の待遇です。美校在学中は、レンブラントやドラクロアに心酔して、暗い絵を描いていたといいます。

兵役半年後に病で除隊し、回復後、父の援助で1923年フランスに留学します。留学中から美食家で、友人宅でパンくずとビールでぬかみそ漬けを作ったりもしました。世界恐慌の前年、1928年に帰国しましたが、これは欧州の一番良い時代に留学したことになります。若き有望な画家として大使館にも出入りし、海軍駐在武官夫妻らと知り合い、帰国後、海軍少将の娘である富子（旧姓も中村）を紹介され、結婚しました。その縁で軍艦に乗り、渡欧したり、戦争画を依頼されたりしましたが研一は、時流に迎合することではなく、絵画の真実を目指して筆をとることを信条とし、画家仲間にも慕われたといいます。

その後1989年、富子は美術館をたちあげます。1991年に「財団法人中村研一記念美術館」となった後、2004年、小金井市に寄贈され、2006年、市立美術館として開館しました。（富子は2009年102歳で大往生）

市立はけの森美術館は、開館以来、市民参加・参画型を理念とし、市民の芸術文化活動の拠り所となることを目指し、ワークショップなど様々な取り組みを進めてきました。子ども達への教育プログラムも充実してきています。所蔵作品は約800点、様々なテーマによる企画展示を行い、市民に優れた作品鑑賞の場を提供することを目指し、運営されています。財団法人の頃から喫茶棟だった研一の住まいは、



美術館（外観）



美術館（2階展示室）

市立になった2006年、「美術の森」緑地の中の喫茶棟として、市民が気軽に喫茶を飲める場所として開放され、今はオープン・ミトン カフェが入っています。

日常の些細なことを直に話す機会が減った現代、庭に出て「もうすぐ栗の季節だね」という何気ない会話や二人の時間を大切にし、日常の生活を楽しむ夫妻に共感します。富子も画を描き陶芸も一緒にしていたそうです。猫（しゅっちゃん）や犬（ちーたん）たちも家族同様の暮らしでした。

今回の所蔵作品展「料理して妻を待つ」は、大変盛会でした。料理好きで愛妻家の研一の人が伝わりやすい。展示されたレシピを覗いて「作ってみたい」との感想もありました。

東京朝日新聞家庭欄に掲載のレシピ（5頁）は、当時まだ珍しいフランス風の献立で、「材料は質素で良い、少しの工夫で食卓を楽しく」という思いが伝わってきます。富子は料理をあまり作らなかつたようですが、仲睦まじく一緒に台所に立っている場面を紹介した記事もあり、微笑ましい二人を紹介したいという気持ちで展示会の企画をしました。

1945年12月、夫妻は妻・富子の母の知人の縁で小金井に移り住みます（同年、代々木のアトリエは焼失。夫妻は代々木のアトリエを離れ西荻窪近くで暮らしていた）。研一は湧水池のある住まいを愛し、日常の暮らしをモチーフに画を描きました。

1950年芸術院会員となり、画家として成熟したころに陶芸を始めます。諸行無常という言葉を書き、楽しさと苦しさを画にする、画も音楽も人を幸せにする、無表情の人間と向かい合ってもつまらない、大切なのはみんなで食卓を囲むこと、と言っています。旅先の宿で部屋の画が気に入らないと裏返しておいたという逸話もあります。

建築家佐藤秀三の手による住まいに暮らし、華やかな経歴の一方、積極的に絵を売ろうとせず、愛妻や自然など

学芸員の仕事や
思いを伺いました

学芸員は研究職です。展覧会を一つの研究の成果として普及していくことも作品の保護と同様の使命です。作品作家同志の繋がりを研究する中から、展示テーマが決まることもあります。休館中も様々な作業に追われる日々ですが、この場所にある美術館として中村研一の仕事は、詳細に調査研究を続けていかなければと思っています。

「文化」には、時間とお金がかかりますが、日常を豊かに、文化のまちづくりの発信地になりたいという思いで、展覧会の他にワークショップも企画しています。刊行物・ポストカードも販売、今年3月に「平成18年度〜22年度の年報」が完成しました。



学芸員 神津瑛子さん

取材を終えて

緑茂る湧水池のある佇まいの市立美術館。前を通られた方はたくさんいらつしやると思いますが、是非入ってみてください。研一の旧居リビングだった部屋は、切妻の屋根の勾配が見える吹き抜けのオープン・ミトンカフェに生まれ変わっています。「できたてを食べてもらえたら」と願う店主。ありのままの自然とおいしい空気が、お菓子とお茶の味をさらに引き立て、研一と富子の楽しんだ生活を束の間ですが味わうことができるような気がしました。また、隣に建つ茶室「花侵庵」の名前の由来は、周囲の梅の木の香りが建物にどんと入ってくるイメージを表現したとのこと。現在は内部非公開、いつかこの茶室でお抹茶を頂けたら素敵です。

私たちのまちに様々な「文化」が深く根づいたら、もっと幸せに暮らせる街となるような気がしました。(加)

新聞に掲載された中村研一のレシピ紹介(一部)

體驗から作った二、三錢のご馳走
—特に欠食児を世話する人へ—
子供は肉が好き 経費がなければおさかなを

私は子供をもちませんので、子供の好みをよくは知らないはずですが、幼少の頃より両親に離れた生活をし、中學では寄宿舎、軍隊では衛戍病院、美術學校在学中は病弱、またパリでは貧民病院で四十日を送つたので、多少考へてあるところがあるのです。

— 略 —

(一) おから御飯
◇おからにみりん、鹽(しほ)、味の素、砂糖で味をつけ、にんじん、玉ねぎ等をこまかく刻みこみ、バターをゆるせば申分ありませんが、許さぬ節はよいゴマ油をフライパン様のものにそゞ、右のおからをイリあげる。
◇子供は変化を好む故食紅少々にてそぼろの如く色をつけて三つ葉などきざみかける。
◇茶碗にごはんを盛りその上に二厚さ位に右のおからをかけてたべさせるのですが、これもドンブリがあれば子供は大へん喜んでさう

(二) おからのクロワケット
豆腐の方に、にんじんと少量のニンニク、玉ねぎ、パセリ等を切り込み鹽、味の素で味をつけ、よく混ぜてよく丸くなるやう一水でも玉子でも入れて一つまりコロツケの様にまるめ、これを油で焼いて別に醤油、せうが、砂糖等でソースを作り、これをかけて御飯と共に與へる、子供はそのソースまで御飯につけてお美味さうにたべます

(三) 馬肉スープ
◇醤油、鹽(しほ)、味の素にて少しからめの吸物様のしるを作ります。馬肉は二百グラム二十錢と見て一人前五十グラムをひき肉にする、肉はなるべく、の所がよろしい

◇最初は子供は口なれないのでなまくさがなるが、なれるに従つてまぐる同様なまでも食べるようになる
◇右のスープをよく冷し(指をいれて熱くない程度) — その中に右のひき肉をいれる、さうするとスープは地の様になる、それを御飯と共にたべさせる
◇フランスあたりでは病後にやる料理ですが、これは病弱な子にもつともいゝと私は信じて居ります馬肉は特注なさるともつと安く手に入るはず

(四) 御飯の菓子
残飯を今一度牛乳(コンデンスミルクにて経済に合ふやうゆるめる)で煮てそれにレモンの皮、砂糖等にて甘く味をつけ、茶わんにいれて型を取り皿にうつし、別にメリケン粉に砂糖牛乳等にてホワイトソースの甘いものを作りよりにかけて與へる

(五) ジヤガイモのピュレー
同様にコンデンスミルクを用ひいゆるピュレー馬鈴しよを煮てすり鉢にてすり、右のミルクにバターをまぜてねり合はせたものは特に幼少の兒童によろし

(六) 肉のお團子
サンマ又はいわしの肉を焼き又は蒸してそぼろ様にほぐし、メリケン粉又は麦粉によく混ぜ、更にニンニク、玉ねぎ、にんじんを混ぜて平たくせんべい様につくり、許せば玉子の白身につけてパン粉(これもあまりもので造つておく)にまぶして油であげ、醤油、せうが砂糖又は醤油をあつくしてバターを溶けこましたソースにて與へる

材料はどこにでもある
—最後に申し上げたいこと—

要するに私の申し上げたいのは、日常どこでも残りのものとして氣のつかない所にあるものを氣をつけて見られるれば、料

理は何も遠い所にあるものではありません
天プラのカス、大根のすてる葉やくき、兎の肉等至る所に子供の食を二錢三錢で與へ得るものがあるのです、私はいつもこれを考へて居ります、あなた方も何んとか榮養に利用されべきものを考へて下さい
料理は決して料理本や料理人の手にはありません、そんなのはぜいたくなのです、一尾一圓のあゆを召し上る時、これで三十人五十人の子供がよろこぶ料理を考へて下さい

東京朝日新聞朝刊
家庭欄(1932年12月5日)より抜粋

☆お總業は主人の役目☆ ~ 中村研一氏夫人談 ~

中村が御社に「二三錢で出来るお料理」といふのを書きましたところ、それからいふもの、毎日のやうに婦人雑誌の方が見えまして、何か料理のことを書け書けと勧められ、中村は断るに困つて「僕は料理屋ぢやないよ」なんてお断りしてあましたが……

それほど、ご馳走といふと、中村が、一切を指揮してくれますが、よそ様とは違つたところだらうと實は有難く思つてをります。毎日のおそう菜から、お客様などを御招きする時はもちろん、中村が「たゞこれを買へあれを買へ」と申つてくれますし、お料理も中村が主としてやつてくれますから、どれ程助かるか分かりません。と申しますのは、よそ様では、奥様方の一番大きな御苦労は、毎日のおそう菜といふことを聞かされてあますから、かう申し上げるので、この際世の夫たる方々にどうか奥様のため、毎日でもなくとも、お料理のご注文を、召上る前になさつてあげて頂きたいと思ひます。

東京朝日新聞朝刊
「わが家の自慢(3)」(1933年1月18日)より抜粋

(原則、原文のまま掲載しています。)

小金井市立
はけの森美術館

● 利用案内 ●

開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：月曜日(休日の場合は翌日)、年末年始、展示替え期間
観覧料：所蔵品展 一般200円/小学生100円
企画展 その都度設定
※未就学児は無料
※障害者手帳をご呈示の方、および付添者1名は無料

〒184-0012 東京都小金井市中町1-11-3
TEL 042-384-9800
http://www.city.koganei.lg.jp



オリジナルグッズのご案内

美術館では、展覧会カタログやポストカード(各50円)、一筆箋(各200円)等を販売しています。



オープン・ミトン カフェ

TEL/FAX 042-385-7410
営業時間：11月～2月まで午前10時～午後3時45分
(ラストオーダー午後3時15分)
3月より午前10時～午後4時45分
(ラストオーダー午後4時15分)
定休日：毎週月・火曜日/第3日曜日
(その他臨時休業あり)



美術館の敷地内には、『オープン・ミトン』(カフェ)があります。緑に囲まれた静かな一軒家で、美味しいケーキ・焼き菓子やランチが召し上がれます。演奏家を招いたオカリナのコンサートも毎月開催しており、遠くから足を運ばれるお客様も多数いらつしやいます。

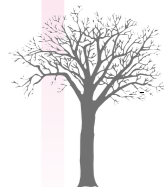


美術の森緑地

美術館の裏側、美術の森緑地は、湧水池や竹林など自然豊かな環境です。

小金井

で学ぶ



かがくくらぶコスモ

平井崇子さんのお話し



「かがくくらぶコスモ」
代表 平井 崇子さん

お茶の水女子大学理学部
化学科 昭和33年卒
日立製作所中央研究所、
花王石鹼で、23年間、化
学の研究に携わる。退職後、昭和63年に、平林
浩さんと「かがくくらぶコスモ」を結成し、子
ども達の理科教育を、楽しく行っている。平成20
年に第4回小柴昌俊科学教育賞奨励賞を受賞した。

毎週水曜日の午後3時、上之原会館には子ども達が集まってくる。「かがくくらぶコスモ」に参加するためである。月4回、平井崇子さんと平林浩さんが講師となって、小学校1年生から6年生の子どもたちと科学を楽しんでいる。目標は、「科学する心・考える力・自然への豊かな目の育成」となっており、ここで子ども達は、科学する心を養い、楽しく学んでいる。小金井にこのような団体があったとは、初めて

知ったと言う人もいるだろう。しかし、そこには小金井市民の持つ豊かな教養が感じられる。

代表者の平井崇子さんは、数学が建築かのどちらかへ進みたかったが、土木建築に携わった父親が、建築業界では女は差別されると危惧したので、化学科へ入学した。そして卒業後、日立製作所に入社し、23年間、基礎研究などに携わってきた。女性研究者では人目で、そのころは、女性が勤めるこ

とは非常に難しく、待遇にも差別があったが、女性にも大事が任せられ、世界の先端の研究に携わっている周りの研究者達が、平等に扱って常に支えてくれた。しかし、夫も非常に忙しい日立の研究者であり、育児、家事は全部平井さんの方にかかってくる。5時間睡眠の日が続いたという。

退職後は、大学の同窓生で科学児童書の作家である藤田千枝さんの誘いで、「科学読物研究会」に入会した。その中で、グループを立ち上げ世界の教科書や理科教育について調査し、日本の理科教育が遅れていると感じた。日本では、小学生には、画一的に、あ

が危ぶまれる。

コスモでは、台所の物を使ったり、自然観察に行ったり、仮説実験授業をやったりと、「子ども達の科学に対する好奇心に灯を灯し、感性を育む」ように心がけて、行ってきた。理科が大好きな子は勿論、学校が苦手な子ども、落ち着きのない子ども、誰でも受け入れられているが、コスモを楽しみ、学ぶ意欲が出てくるのである。

例えば、「かがくくらぶコスモ」の平成24年6月のスケジュールは、6日「イオンが動けば」（仮説実験授業）、13日「野菜ってなに」（切って調べる）、20日「イオンが動けば」（仮説実験授業）、27日「ピコピコまゆ玉を作る」（アルミ箔とビー玉で）、となっており、子ども達はどんな意見やアイデアを出す。仮説実験授業というのは、予想の中から各自が答えを選び、討論し、実験をして確かめるといったり一方で、授業書にしたがって問題を解いて行き、真実を学ぶという授業である。このような授業を通して、子ども達の教える力、判断する力が、どんどんついてきている。学校だけではなく、家庭でも、そして周りでも、いろいろなことが学べると思う。

平成20年3月23日に、「かがくくらぶコスモ」は、平成基礎科学財団より、



第4回小柴昌俊科学教育賞奨励賞受賞時の写真
(左：平林浩さん、右：平井崇子さん)

「第4回小柴昌俊科学教育賞奨励賞」を受賞した。平成基礎科学財団は、ノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士が理事長を務め、子どもの基礎科学への興味を高める功績のあった団体などを対象として、賞を送っている。今回の受賞は平井さんと平林さんのお二人の努力の賜であろう。子どもは「センス・オブ・ワンダー」（不思議さに驚く感性）を持っていると言う。平井さんは、子ども達が疑問を出して、成長していくのが楽しみであり、人間の歴史は生命の長い歴史の中で一瞬という短さであり、地球を大事に他の生きものと共生する必要性を学んで欲しいと言っている。科学的考え方、洞察力、判断力は、どのような生き方、どのような職業に就くにも必要なことであり、これからの日本に非常に大切である。(佐)

国際比較

メヘディ・ジャハンパーアーさんに聞く



2007年から東京農工大学大学院生物システム応用科学府に在籍中のメヘディさんに、2時間に亘り熱心に語って頂いたお話しを紙面が許す限りご紹介いたします。

イランから何故日本に来られたのですか？

1982年に生まれた時はイラン・イラク戦争中でした。小学校に入ってから戦争は終わりましたが、入学当初の勉強はテレビ放送を通じて自宅で学ぶ日々でした。遊びもテレビだけの時代でした。当時は、イランの国営放送の日本のドラマ「おしん」が大変な人気で、豊の文化にも親しみを感じ、同じアジア人だと身近に感じました。特におしんが奉公先のお婆さんから学問を学ぶシーンに、日本人は優しいと思いました。

高校でトップの成績を修め、「科学オリンピック」イラン代表となり、大学受験免除と徴兵免除を受けました。シャルフ大学で学ぶ中、「国際科学オリンピック」で金メダルを取得、難関を経て米国ミシガン大学への編入を許可されましたが、渡米準備中に9・11テロが起き、米国内行きを諦め、シャルフ大学で学び続けました。翌年4月、日本で奨学生を募集することを知り、更なる狭き門を経て、

上げてきました。今の日本を大事にして、次世代へ伝えて欲しいと思います。

取材を終えて

30歳という若さで、人の何倍もの時間を生きているメヘディさん。旺盛なチャレンジ精神が彼を支えていると感じました。彼には、日本の高度な科学技術を学び母国へ戻る、父も新薬があれば助かった、との熱い思いが根底にあるように感じました。イランでは、男子へ徹底して厳しいしつけをするというくだりで、「母は夕食で妹たちが『これは食べられない』と言うと作り直す、私が言う『食べなくて良い』という』というエピソードを語ってくれました。優しく厳しい父親、天使のような母親と語ってくれた笑顔は、子どもの顔でした。(加)

暮らしの中で大事にしていることは？日本人に伝えたいことはありますか？

まずは、自分の目標を大事にしています。日本の高度な科学技術を学び、副作用のない薬を開発して治療に役立てたいと思っています。

何より家族が大事だと思っています。母が母国で一人で暮らしていることを思いながら、勉強をしています。この大学や先生も大事に思っています。

妻は同い年、インターネットを通じて知り合い、友人として様々なことを話し合い、理解を深めていました。昨年、東日本大震災の原発事故で母国に帰国を促され、その時に初めて彼女とじかに会い、8月に結婚しました。社会学を学んでいる彼女と自分は視点が異なり、共に補い頑張れる関係だと思っています。彼女も来日し、日本語を習得しよう頑張っています。

イランには古い歴史と文化があります。3千年前のペルシャ帝国のクロシュ王を尊敬しています。イランに男女差別はありませんが、男は社会の厳しさを教えられ、家の修理でも何でもできるように、女は生活に関わるアートができるようにしつけられます。日本人は、戦後の廃墟から今を造り上

メヘディさんからご紹介いただいたイラン料理

★ホレシュテフェセンジュン★

【クルミの油は、体に優しい(オメガ3脂肪酸)ので安心です。】
※オメガ3：血液中の脂質濃度を下げる働きがあるとされています。



- 材料**
- ・鶏肉 400g
 - ・挽きクルミ 150g
 - ・ざくろペースト(甘いと酸っぱいの種類がありますので好きなように混ぜ合わせるか、単独で使う)
 - ・ゴルパール(イランの香野菜)
 - ・塩、コショウ、ターメリック、サフラン

- 作り方**
- ①鍋に、挽きクルミ、ざくろペースト、ゴルパール、塩コショウ、少量のターメリックとお湯を入れます。
 - ②弱火で加熱し、5分毎にチェックし、コップ三分の一程度の冷水を加える。(この操作をクルミの油が材料の1センチ上まで上がってくるように行う。)
 - ③サフランを加え、色をだいたい色に調整する。
 - ④鶏肉を加え、そのまま加熱する。(鶏肉がやわらかったら完成。)ご飯にかけてお召し上がり下さい。

★ゼイトウンパルバルデ★

【オリーブに含まれる一価不飽和脂肪酸は、アルツハイマーを減少させるとされています。】



- 材料**
- ・種抜きのオリーブ(300g)
 - ・ざくろペースト(カレースプーンで三つ)
 - ・おろしにんにく3スプーン)
 - ・挽きくるみコップの半分
 - ・お好みの香菜適切量
 - ・オリーブオイルは2スプーン
 - ・ざくろジュースは1スプーン
 - ・ゴルパール(オプション)はお好み量
 - ・ざくろ果汁は2-3スプーン

- 作り方**
- ①全ての材料をボールの中できちんと混ぜる。
 - ②ラップをして冷蔵庫に入れる。
 - ③冷やして、漬物感覚で、ご飯と一緒にどうぞ!

★フェレニー★ [季節にこだわらないデザートです。]

- 材料**
- ・牛乳 500ml
 - ・米の粉 50g
 - ・砂糖 100g
 - ・バラの水 2スプーン
 - ・カルダモン(粉) 1スプーン



- 作り方**
- ①米の粉をゆっくり牛乳に溶解させる。
 - ②砂糖を加えてかき混ぜながら、ゆっくり加熱する。(しっかりかき混ぜるのがポイント)
 - ③濃くなって沸騰したら、カルダモンとバラの水を加えます。
 - ④さらに濃くなって表面に割れ目が入ったら火を止める。
 - ⑤お好みで、アーモンドやシナモンを飾ります。
※冷やしても(夏)、熱あつでも(冬)美味しくいただけます。

男女共同参画シンポジウム

「妻が僕を変えた日」を聞いて

七夕の日、小金井市の男女共同参画シンポジウムとして、中央大学教授の広岡守穂さんが講演し、市民も数多く集まった。稲葉市長のあいさつに続き、広岡さんの講演が始まったが、講演の導入に「ころざしをください」という自作自演の歌が紹介された。孫が生まれた日に作ったという。普通のおじいさん(?)のように、自分の子どもにはもっとも振り向かなかったくせに、孫となると途端に色々世話を焼くというお話から、妻との考え方の違いへと入っていった。



広岡 守穂 さん

金沢市出身。中央大学法学部教授。専攻は日本政治思想史である。男女共同参画、NPO、子育てなど様々な分野で活躍している。

シンポジウムの概要を ご紹介します*

妻とのすれ違い

妻とは、学生結婚である。中学の同級生であるが、大学に入って、2年目に実家に帰った時に、偶然出会い、結婚を決意した。しかし、自分の親は反対をした。家庭教師を中心にアルバイトをして生活した。

すぐ子どもが生まれ、1年置いて、二人目の子どもが生まれた。しばらくして、妻が愚痴をこぼすようになった。「来る日も来る日も子育てばかり。いったい私の人生はどうなるのか」と、不安を口にするのである。そんな妻をみて、私は、みなでどこかに遊びに行こう、そうすれば、妻も気が晴れるだろうと考えた。「家族サービス」の発想である。動物園や公園など、いろいろな所へ行こう。

しかし、妻は、「全然楽しくない」というのである。どこへ遊びに行っても、おしめを替えるのもきちっとできなかった。洗濯もきちっとできず、子どものおしめを替えるのもきちっとできなかった。しかし、妻の自分育てを、応援してこなかった。10年も、それに気がつかなかった。男女共同参画というのは、夫と妻が、お互いにお互いの自分育てをさせ合うことではないだろうか。そして、それは、男女だけでなく、高齢者も、障害者も外国人も同じことだ。デモクラシーの深いところに関わることだと思っ。

妻の輝く日

その日が境目となって、私は考え方がガラッと変わった。妻は、しばらくは悶々としていたが、私が38歳の時、在外研究員で1年間、日本を留守にしていた間に、仕事を始めたのである。予備校の模擬試験問題の監修から始め、会社の社内報の編集を手がけた。「家族と暮らし」という個人雑誌を始め、故郷の金沢市で劇団の公演を企画した。ついには石川県の県議会議員を3期務めた。まちづくりが女性向きにできていない事を痛切に感じたので、それを変えていきたいという話があった。妻は現在、浪人中だが、一歩が次の一歩を呼び、次のステップに続いていくというプロセスとなっている。

最後に

人は、大切な人と求め合い、見つめ合い、認め合う。夫婦、親子、友人など。お互いを支え合っている。そういう人と人の関係において、人間はみな、基本的

おしめを取り換えたり、ミルクを飲ませるのは妻の役目になっているし、レストランへ行って落ち着けない。妻は「毎日子育てに追われている。家族みんなで行楽に行くより、どうせなら一時間で良いから私を一人にしてほしかった」というのである。

このとき、私は正直、変な人だなと思った。今まで妻は1回もそのことを言わなかった。赤ちゃんは3歳までは親と一緒にいた方が良く、母親も一緒にいたいと思っているに違いないと思っていた。しかし、妻は「何回も一人になりたいと言っていた。でもあなたは一度も耳を傾けなかった」と言った。私はそんなこと言われた覚えがなかった。しばらく押し問答になった。最後に妻は言った。母親である自分が頑張らなければ、と一生懸命だったというのである。

私たちは、お互いに悪気があったわけではなく、私は母親と子どもは一緒の方がよいと思っているし、妻はいい子育てをしてみせると思っているわけである。

に自立して、対等であるということ、男女共同参画社会は、根深いところで教えてくれている。



講演会を聞いて

このシンポジウム開催のお知らせを聞いたとき、当初、「妻が僕を変えた日」と言う題を見て、うむうむ、これは今まで何もやらなかった男が、妻から言われて家事や育児をやるようになった話かなと思っていた。しかし、それは違っていた。講師は、家事や育児もやっていたのである。しかし、それでも妻の大変さに、育児の大変さに気がつかなかったという事である。

男というものは、妻からはつきり言わなければ、何も気がつかないらしいが、本当にそうだろうか。確かに、現在は、自分の思っている事を、どのようにうまく相手に伝えることができるかと言う事を中心に、さまざまなセミナーが行われている。しかし、日本では相手を思いやり、言葉で示さないところでもやり取りをしていたのである。そこへ、お互いに言いたい事を言う関係を持つてきても、どこまでを伝統として言わないでおくかは、なかなか難しい問題である。女も男も自分育てが必要だよ。 (佐)

妻が僕を変えた日

妻は、私にきちんと思いを伝えていなかった。自分の考えていることを、相手に過不足なく伝えることができなかった。女性は、相手の機嫌を損ねないように、遠まわしに婉曲に自分の思いを語ることがある。しかし、思い込みがある相手にはそういう言い方では伝わらない。一方で、私は、妻の言いに耳を傾けることができなかった。「傾聴」ができなかったのだ。相手の気持ちにより添って、きちんと相手の訴えを受けとめるということである。女性には、アサーティブネス・トレーニング「自分の意見をきちっと主張する」と、男性には傾聴トレーニング「相手の言う事をもう1回繰り返したり、相槌を打つ、など」が必要だと思う。

三人目の子どもが生まれて、1年たった頃、妻は経理学校へ通い始めた。しかし3日坊主であった。その後も何回か、

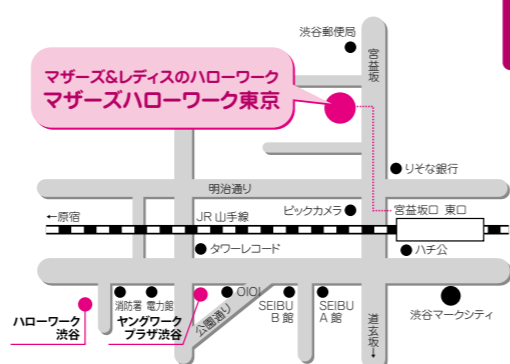
チャレンジしたが、すべて3日坊主に終わってしまった。三人目の子どもが生まれて、4年たち、四人目が生まれ、その後2年置いて五人目が生まれた。そしてある朝、妻は英会話の勉強を始めた。その時、私は思わず、「ああ、また3日坊主だ」と言って、からかってしまった。妻は泣き出してしまい、それは夜遅くまで続いた。私はしまったと思ったが、どうしようもなかった。

まさに、その日が『妻が僕を変えた日』となったのである。妻は、それまで税理士や司法試験、語学など様々なものに挑戦したが、長続きはしなかった。その事に、妻自身が不安を感じていたのではないだろうか。子育てがあっても、もう一方に自分育てがある。子育てをしているときは、どうしても自分育ては疎かになる。そこに不安を感じていたのではないだろうか。そして、もし、妻が自分育てをしたいならば、それをバックアップするのは私しかないとも感じた。私は、家事や育児は、結構手伝って

マザーズ&レディスのハローワーク マザーズハローワーク東京

子育て中の方をはじめ、すべての女性の就職を応援します。

- 「マザーズコーナー（仕事と子育てを両立させたい方のコーナー）」と「レディスコーナー」があります。それぞれのスタッフが、就職に関するさまざまなご相談と、求人企業へのご紹介を行います。
- すべての女性の就職を応援しています。子育て中の方をはじめ、就職を希望するすべての女性にご利用いただけます。
- お子様連れの方も安心！チャイルドコーナーでお子様を遊ばせながら求人情報をご覧になれます。
- 事業主の方からの求人のご相談を行っています。お仕事を探されている皆さまの希望・ニーズに合った求人（仕事と子育てが両立しやすい求人）を受け付けています。



所在地
〒150-0002
渋谷区渋谷 1-13-7 ヒューリック渋谷ビル 3F
TEL 03-3409-8609 FAX 03-5468-0250
http://tokyo-mother.jsite.mhlw.go.jp

ご利用時間
平日 午前9時～午後5時

定休日
土・日曜日・祝日、年末年始

マザーズハローワーク東京は、ハローワーク渋谷の職業紹介の専門機関です。(雇用保険の業務は取り扱っておりません。)

男女共同参画 関連の会議に 参加してみませんか

参加費
及び交通費を
補助します

市では、男女共同参画社会の形成の促進に係る会議等に参加する市民に、参加費用の一部を補助する事業を実施しています。お気軽にご利用ください。市ホームページ(下記URLより)にも掲載しています。

1 補助対象となる会議等

東京都及び東京都に隣接する地域で開催される男女平等社会の早期実現を目指すための会議(宗教及び政治活動並びに営利等を目的とするものを除く。)であって、講演、シンポジウム、分科会等が行われ、参加者相互の交流が行われるもの。

2 応募資格 次の条件をいずれも満たす方。

- (1) 当該会議等を開催する日現在で、当市に2年以上居住し、18歳以上の方
- (2) 男女平等及び男女共同参画に関心を持ち、地域活動及び市行事に積極的に参加できる方

3 応募者の決定

参加希望者が定員(予算の範囲)を超えた場合は、抽選により決定します。

4 参加費補助の内容

開催地までの旅費及び会議に参加するための諸経費を合算した額の2分の1

5 応募方法

男女共同参画室 ☎042-387-9853 又は下記 URL から、申込書がダウンロードできます。また、市役所第二庁舎入口のチラシラックにも申込書を配置しています。

<http://www.city.koganei.lg.jp/kakuka/kikakuzaiseibu/danjyokyodosankaku/info/kokunaikensyu.html>

編集後記

小金井には多くの自然があると改めて思いました。そして市立はけの森美術館の存在も、はじめて知りました。この美術館は、展覧会のみでなく、敷地内のレストランでお茶を飲んだり、庭で考えることをしたりもできます。このほかにも、かがくくらぶコスモの平井さんやイランから来たメヘディさんにお会いできて、小金井市の懐の深さを知ることができました。なんだか、わくわくしてきています。これからも、小金井市の良い所を知らせたいと思います。

(佐藤百合子)

多くの方々に取材協力を戴いたことに感謝申し上げます。小金井で生きる様々な人の輪が、さらに住みやすい幸せな街へと変えていくと信じて、今後「かたらい」を発信してまいります。
 愛読宜しくお願ひいたします。

(加藤由喜枝)

本号では、市民編集委員による、インタビュー記事を中心に掲載しました。取材にご協力いただきました皆様に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

(男女共同参画室)